

刊夕日九十月五

# 常磐每日新聞

定価 一部五分、二ヶ月五分、三ヶ月五分、半年五分、一年五分、郵費別  
 廣告料 五號十二字第一行五分、五拾行  
 日曜祭日の翌日休刊  
 発行所 常磐毎日新聞社  
 印刷所 常磐毎日印刷株式会社

## 園藝の話 (五)

中野農人

石決明貝草の虎耳草  
 そんな苦心をして、買へば十銭ともない茄子や、胡瓜、或ひは佛壇の獻花にも及ばぬ貧弱な花を作るなど算盤の桁に合はない仕事だと、一概にけなし去るものは、縁無き衆生である。今日のやうに行詰つた世相、險惡な人心、混濁土建と舗装道路で、四角四面に、尖がり合つてゐる都會では、一掬の土に種を蒔き、水を灌ぐ事によつて、苛々した人心を緩和し、自と堅實な思想を滲み込ませるよすがとならぬものでもない。

幸ひにして、植物に恵まれた日本は、屋上や窓先でも、容易に親しむべき植物の多くを持つてゐる。大輪牽牛花の栽培、懸崖の菊づくり、それが各家の出窓の棚でも、容易に出来る。云ふのは、我々が天から恵まれた幸福である。

由來西洋人は、所謂繚紳者流は知らず、勞働者の下級な者になると、花など見向きもしない、石決明貝に虎耳草の風流などは、薬にしたくも無いが、我々日本人で花を好まぬといふ人は百千人に一人だも無い。鬼のやうな、三莊太夫の心の

奥にすら、植物を愛して自然に親しむといふ萌芽が、先天的に、潜在するのだから、之を擁護し、發育せしむる時、歪形になつた世相人心が濕ひを帯びて、尖つたものが圓くなり、暗いものが明るくなるのだ。

理屈よりも蜂の頭よりも土に親しんで、自然の親類になる事が、極樂を求める近道なのである。

完

## 人生の行路

山崎小舟

A 道は遠く、峻しく  
 當てもなく先行に迷ふ  
 永遠に繰返される  
 人生の行路!

B 足取り軽く  
 心も軽く  
 いそ／＼と歩く  
 薔薇色の朝。

C 歩み疲れて  
 茫然と佇み  
 深き思ひに沈む  
 灰色の眞晝

D 悶え苦しみながら



科人婦。科外  
**院醫坂井**  
 町田町平  
 番九五五話電

秋は葉すゑ虫ばみ  
 鳥は羽音そよがせて、泣きさぐる  
 人は過ぎし日の思ひ出に  
 さみしき運命を嘆く

H 林の色は鈍み果て  
 荒れた墓場のやうな冬は  
 不安と苦しみを、人の胸  
 に投げ  
 春待つ心に勇氣を誘ふ

来れ！帝都の麗人現はる

本日ヨリ三日間  
**福壽軒の藤の大夜會**

帝都一流マネキン界新人  
 丘ミチル 小松美子  
 秋月幸子 五月久子  
 外一同

咲き誇る藤棚の下に満喫せよ……  
 麗人の圓熟せる尖端的大サービス

平 驛 前

カフエー  
**福壽軒**  
 電話二八番

是非！

御融通には御利用下さい  
 萬事便利な御相談に應じます

**三井質店**  
 平四・電六〇六番

喜多流謡曲と仕舞の  
 お稽古をお勧め致します

喜多流 謡曲 白土會  
 平田町九六  
 電話二二七番

◇詳細は本會へ御問合せ下さい

耳鼻咽喉科専門  
**鈴木醫院**  
 醫學士 鈴木 正男  
 平町田町(電話五八番)  
 藤田女學校前

自炊のお需めに應ず  
 入院の便あり

おなじみの魚清

**魚清食堂部**

平二警察署裏通り

賣始めました。

どうぞ御用命を

かばやき 五十錢  
 うな重 五十錢  
 うな井 三十五錢  
 うな巻玉子 二十五錢(二人前用)

◎多量御注文の際は御相談に應じます

◇出前持至急入用  
 ◎希望者へ大至急来店アレ御委細面談優遇ス



# 市況活気

## 収益税増加

昨年に比し一割以上  
平税務署では目下九年度第三種所得税並に營業収益税を算定中であるが本年は管内各炭礦並にセメント會社等が依然として好況を續けこれら從業員の俸給給料等も大体二割平均増加し、營業収益も市場の活況により幾分増加したので昨年に比し約一割程度の増加を見込まれてゐる

## 船長腹痛し

### 船体難破す

#### 危い所を救助

小名濱町漁業家野崎貞行所有トロール船第一壽丸(二三ト)に船長佐川清志外七名が乗込み十七日双葉郡請戸沖で漁をして小名濱へ歸港の途中、船長が急に腹痛を訴へたので船長代理が舵手となつて航行中同

## 女給を斬る

### 髪を掴んで

#### 引摺り倒す

##### 加害者は窃盗起訴猶豫の男

内郷村大字宮字金坂カフエ一ナイスこと皆川俊之助二男皆川俊康(三)は十七日午後十一時頃同家の女給東京市小石川區生れ高田なかの(三)と些細のことから口論

れたが俊康は傷害前科一犯あり且つ窃盗起訴猶豫中のもので附近のものから蛇蝎視されてゐる札付きの不良である

## 自動車

### 家に飛込

勿來町關田生於保吉は(四)昨十八日午前十一時頃無免許も拘らずトラックを運轉して同町窪田地内を疾走中前方の子供をさげんとして運轉を誤り自轉車修繕業中村巖方に突入し柱硝子戸を破壊し車体を大破した

## 拒まれて

### 亂暴した男

小名濱町字西定居住大工阿部彦市(三)が本月五日午後十一時頃近所の齊藤ミサ

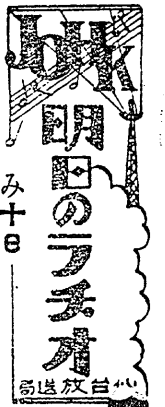
## 坊ちゃん嬢ちゃん

### 大喜びの花まつり

#### 昨日平署會議室に開く

##### 夜は野外傳導

既報平町佛教慈善會の釋尊降誕二千五百年少年少女花まつり大會は明日午前十時より平署會議室に於て晴雨に拘らず催されるが大會のプログラムは左の如く、尚午後七時よりは常磐銀行前驛前、郵便局前の三ヶ所に於て野外傳導を行ふ由



明日のラジオ

今晩も明日も南西の風晴曇半す

## 今夜の部

- 後六、〇〇 極東水上競技大會實況(第七日)マニラより中継
- 後七、三〇 少女歌劇 立松英子外大勢
- 後八、〇五 俚語
- 後八、二〇 連續講談 第一席「堀部安兵衛」田邊南龍
- 後九、〇〇 時事解説
- 後九、三〇 時報 ニュー

## 明日の部

- 前六、〇〇 初夏をうたふ(第一日)東京佐々木筑波侯爵邸より中継
- 前九、一〇 榮養料理献立 木芽揚と甘藷のおろし揚 榮養研究所
- 前九、三〇 子供の時間 理科童話劇「種と小石こひつじ會」

## 宗教講話

- 前一〇、〇〇 宗教講話「瑞巖主人公」臨濟寺派管長足利紫山
- 前一〇、四〇 講演「日本領海内に於ける珊瑚礁に就て」東北帝大理學部講師田山利三郎
- 前一〇、一〇 講演「蘭壽飼育法の斷片」淺田七五三
- 後〇、五〇 滿洲より座談會「新京を語る」
- 後一、二〇 野球試合實況 法政對帝大神宮より中継
- 後二、一〇 浪花節 齊藤内藏之助東三ツ子
- 後二、四〇 ラヂオレヴュー 中山安兵衛 榎本健一 外大勢

## 大角力夏場所

- 後三、三〇 大角力夏場所實況(十日目)國技館より中継
- 後六、〇〇 子供の時間 童話劇「ヨビ動物話」(第二回) Bk子供サークル
- 後六、二五 産業ニュース
- 後七、三〇 清元 青海波 菊助外五名
- 後八、〇〇 哥澤 歌澤寅佐久
- 後八、二〇 獨唱 小島弘子 伊藤一男
- 後八、五〇 連續講談(第二席)「堀部安兵衛」田邊南龍

## 吳服物を窃取し 邪魔な自轉車を 乗り捨て、逃走

今十九日午前八時頃平署保線區場の一臺の自轉車が乗捨てられてあるのを警員が発見平署に届け出た處同自轉車は平町大町吳服商丸山下宗一さん所有の自轉車で昨十八日正午頃自宅前に置いた前記自轉車に銘仙三十反、丸帯十三本(價格四百圓)を大風呂敷に包んで置き自宅内で所有中何者かのために自轉車を盗るみ搔拂された

## 岩穴に忍込

### 不在中を盗む

湯本町字三函一九三日雇業下遠野光秀(三)は十七日午後三時頃同字地内の山林岩穴に居住してゐる日雇業萩野元吉の不在中に忍び入り現金四圓七十錢を窃取し同

- △ブリキ職 二十一四十才 位 尋卒 給料面談
- △女中 二十一四十才位 尋卒 月五、六圓位
- △農夫 二、三十才位 月六、七圓位
- △女中 二十一四十才位 尋卒 月、六圓位
- △女中 二十才以下 尋卒 年四十圓 外仕着
- △回職を求める方
- △土工夫 四十四才 尋二 修
- △農夫 三十七才 尋卒
- △魚屋店員 二十九才 尋卒

## 木村外科醫院

平町六丁目橋際 電話九〇三番

- △給仕 十九才 高一修
- △機械工 二十二才 高卒
- △自動車修繕工 十八才 高卒

## 病軀悲觀

### 豊間の縊首

好間村北好間無職大森茂(五)は昨十八日午前七時頃自宅裏の柿の木に縊死を遂げた原因は家庭の貧困と中風の不治を悲觀して

## 小野田慰安會

村小野田炭礦では明廿日午前九時より同村小學校庭に於いて從業員慰安運動會を開くと

